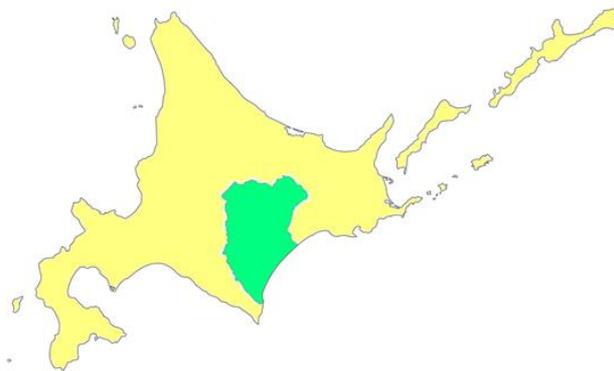


# と か ち 経 済 情 報

令和 7 年 1 0 月 ~ 1 2 月



財務省 北海道財務局 帯広財務事務所

## 【利用上の注意】

・公表数値は、推計方法の変更等により、過去に遡って改訂される場合がある。

## 【問い合わせ先】

財務省 北海道財務局  
帯広財務事務所 財務課  
〒080-0015  
帯広市西5条南8丁目  
帯広第2地方合同庁舎  
TEL 0155 (25) 6381

# と か ち 経 済 の 概 況

個人消費、観光は、持ち直しており、生乳生産、公共工事、住宅建設は前年を上回っている。

このように管内経済は、**持ち直している**。

項目	前回(令和7年7月～9月)	今回(令和7年10月～12月)	前回比較
総括判断	持ち直しつつある	持ち直している	
1. 個人消費	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	持ち直している	
2. 観光	緩やかに持ち直している	持ち直している	
3. 雇用情勢	有効求人倍率は前年並み	有効求人倍率は前年並み	
4. 生乳生産	前年同期を上回る	前年を上回る	
5. 公共事業	前年度累計を上回る	前年度累計を上回る	
6. 住宅建設	前年同期を下回る	前年を大幅に上回る	

先行き	所得環境が改善する下で、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、物価および金利の動向に十分注意する必要がある。
-----	--

## 【参考】

項目	前回(令和7年7月～9月)	今回(令和7年10月～12月)
企業倒産	前年同期を上回る	前年を上回る
金融	貸出金残高は前年並み	貸出金残高は前年並み

# 1. 個人消費 持ち直している

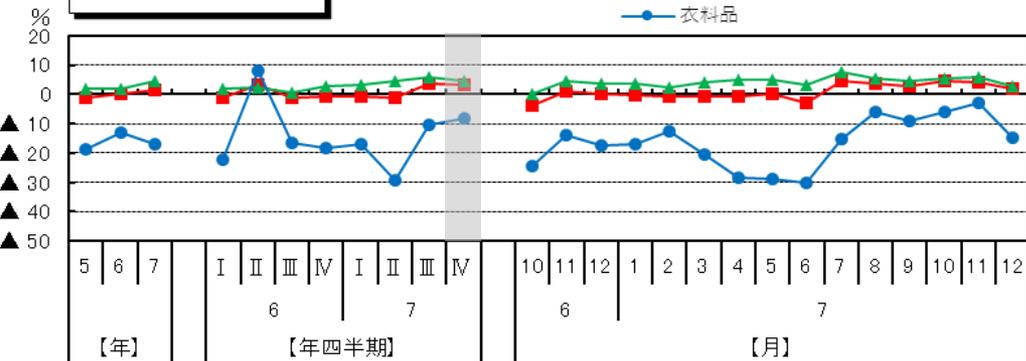
主要小売店売上高は、衣料品が前年を下回っているものの、飲食料品、身の回り品は前年を大幅に上回っていることから、全体では前年を上回っている。

乗用車販売（新車登録・届出台数）は、前年を上回っている。

このように、個人消費は持ち直している。

主要小売店売上高

■ 主要小売店計 ■ 飲食料品  
● 衣料品



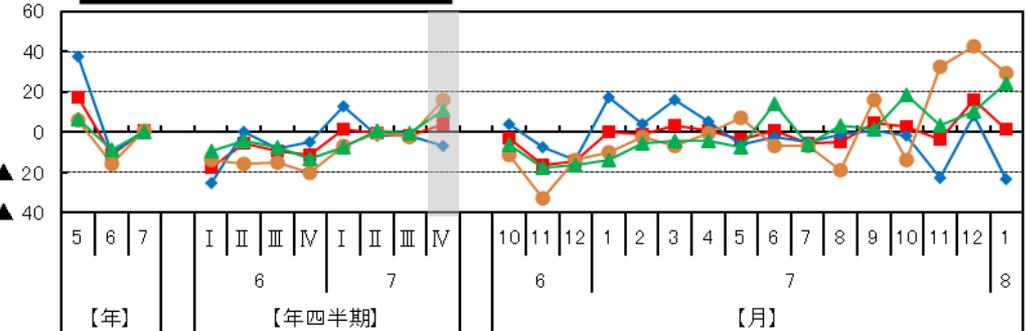
<資料：管内主要小売店>

[10-12月前年同期比]

主要小売店計 +3.4% 飲食料品 +4.7% 衣料品 ▲8.1%

乗用車新車登録・届出台数

■ 乗用車計 ■ 普通乗用車  
● 小型乗用車 ■ 軽乗用車



<資料：帯広自動車販売店協会>

[10-12月前年同期比]

乗用車計 +3.6% 普通乗用車 ▲7.1% 小型乗用車 +15.7%

軽乗用車 +10.9%

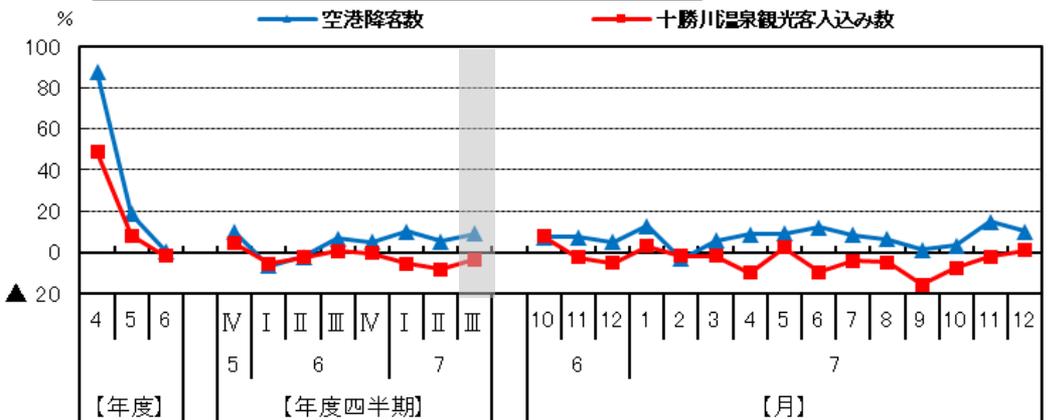
## [企業・団体の生の声]

- 海産物の中国向けの輸出が一時再開したものの、すぐにストップしたため、ホタテなどの単価が下がるかと思っただが、反対に昨年の2倍近くまで高騰した。不漁であったことに加え、輸出業者は既に中国以外の販路を構築済であり、中国向けが止まっても国内に多くは出回らなかった。
- 立体シールの流行や人気アーティストの新譜発売もあり雑貨販売は前年同月比プラスとなった。
- 若者のテレビ離れが進んでいるが、オリンピック効果もあり、テレビも売れてきている。しかし、国内メーカーではなく安い海外メーカー製が選ばれる傾向にある。
- 12月の大雪の影響について、当日は来店客数は減ったが、前日にまとめ買いをする人が多かったため、積雪前後の売上に大きな影響は無かった。
- 10-12月はメーカーから車両の供給がしっかりとあったため、登録が進んだ。
- ガソリンの暫定税率廃止に伴い、走行距離が長い傾向にある十勝管内では燃料代削減効果が大きいため追い風となるのではないかと。

## 2. 観光 持ち直している

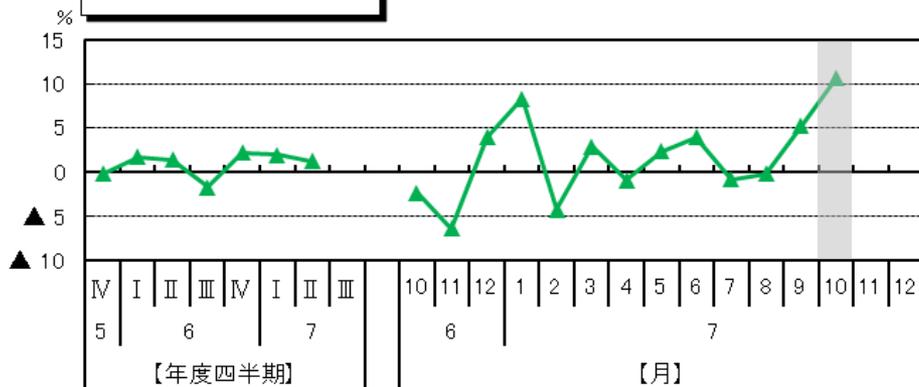
十勝川温泉観光客入込み数は前年を下回っているものの、空港降客数、市内ホテル宿泊客数は前年を上回っており、持ち直している。

空港降客数及び十勝川温泉観光客入込み数



<資料：北海道エアポート(株) 帯広空港事務所、音更町（主要旅館5社）>

市内ホテル宿泊客数



<資料：日本銀行釧路支店帯広事務所>

[10-12月前年同期比]

空港降客数 +9.2% 十勝川温泉観光客入込み数 ▲3.4%  
市内ホテル宿泊客数 (10月前年比) +10.7%

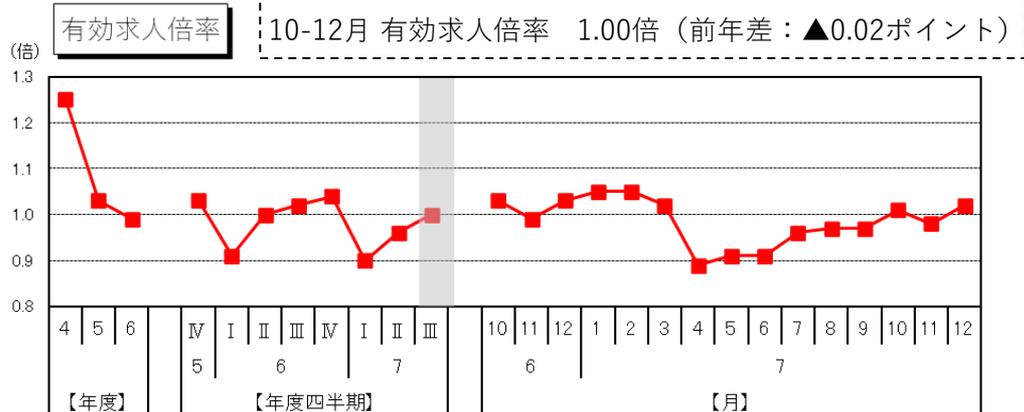
### [企業・団体の生の声]

- 帯広空港では、韓国定期便が今年は就航していることもあり、前年を上回った。
- 韓国の清州線の増便があり、かつ、仁川線の新設があったことで、利用者が増加している。
- 十勝川温泉にも韓国線の利用者が訪れている。日帰り客も多く見かける。
- 十勝川温泉と札幌・旭川を結ぶ無料送迎バス付平日2泊3日プラン(モール温泉号)の予約は2週間で埋まりきった。十勝川温泉への道内客の潜在的な需要はまだまだあると感じている。
- 市内ホテルでは、インバウンドの中で、韓国のシェアが圧倒的に増加した。
- ビジネス需要により、11月から閑散期となっているなか、韓国からのインバウンドが全体に占める割合が大きくなり、良い影響も大きくなっている。

### 3. 雇用情勢 ▶ 有効求人倍率は前年並み

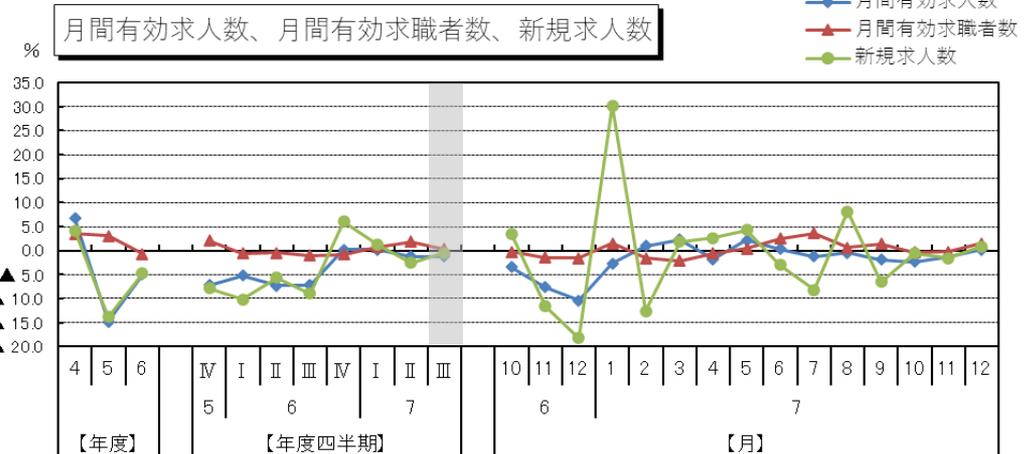
雇用情勢（パートを含む常用）をみると、月間有効求職者数は前年を上回り、月間有効求人数が前年を下回ったものの、有効求人倍率は前年並みとなっている。

新規求人数は、前年を下回っている。



#### [企業・団体の生の声]

- ▶ 企業に人手不足感は依然としてある。本当に求めている人材は若年層といった企業が多く、今後の会社の継続を憂いて若い人材を欲しがっている会社が多い。
- ▶ 決まっていない方が月間有効求職者として残っている状況にある。求職者にとって真新しい求人が少なかった影響もあるかもしれない。
- ▶ 民間の人材紹介会社も使ってなんとか採用人数は増やせたがコストが高い。年々採用活動は苦しさを増している。
- ▶ 近々では現社員で業務を回すことはできているが、安定面で見ると不安が残る。長い期間働いてもらえる人材を確保したい。
- ▶ 最近では入社しても早期に退職する人がおり、常に心配している。



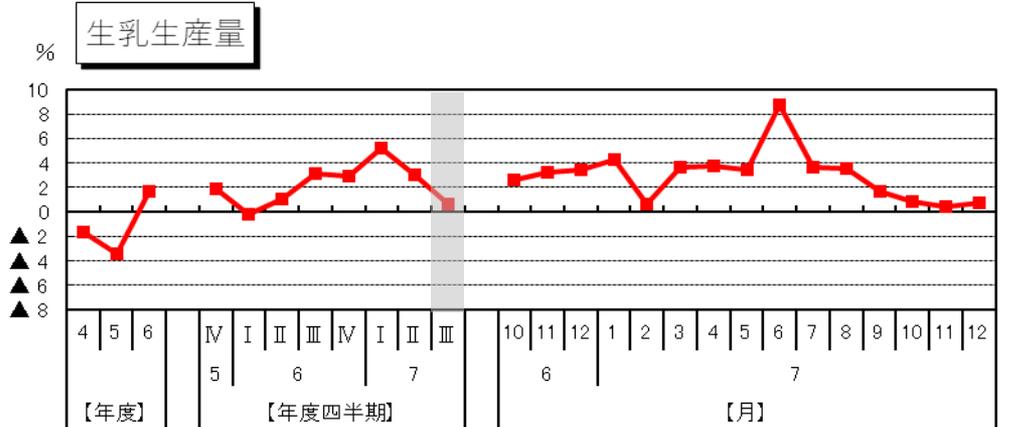
<資料：帯広公共職業安定所>

[10-12月前年同期比]

月間有効求人数 ▲1.2%    月間有効求職者数 +0.3%  
 新規求人数 ▲0.4%

## 4. 生乳生産 前年を上回る

生乳生産量は、前年を上回っている。



[10-12月前年同期比]

生乳生産量 +0.6%

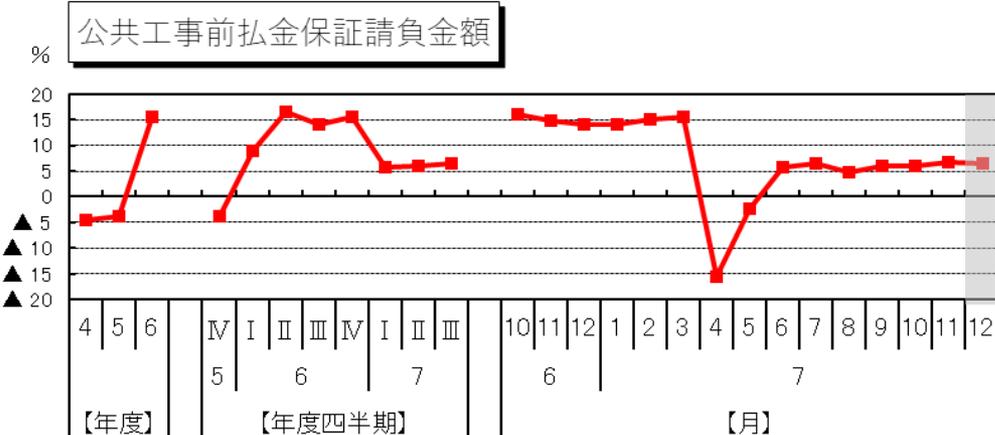
[企業・団体の生の声]

- 生産抑制を受け乳牛頭数は減少していたものの、一頭あたりの生産量は増加していたため、前年を上回ることが続いていたが、その状況も一巡した。そのため、前期と比べ前年を上回っている幅は小さくなっている。

<資料：十勝総合振興局>

## 5. 公共事業 前年度累計を上回る

公共事業を前払金保証請負金額でみると、道路及び農業基盤で増加したことから、前年度累計を上回っている。



[12月末前年度累計比]

前払金保証請負金額 +6.4%

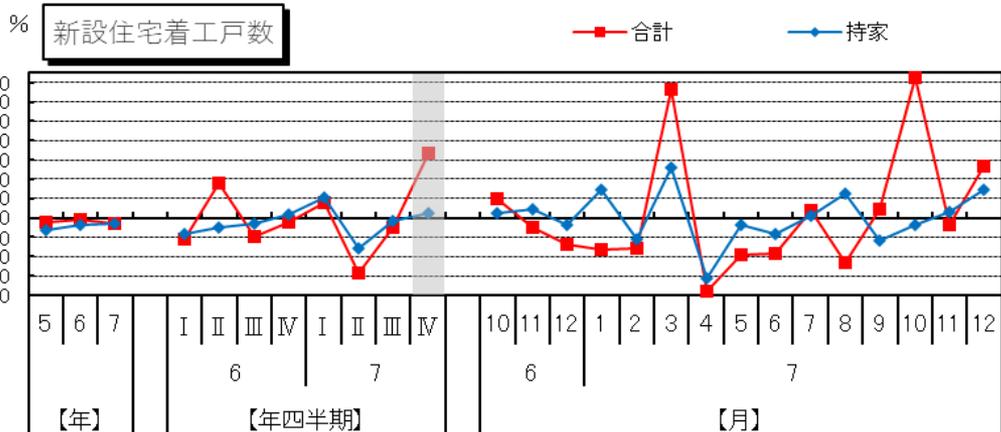
[企業・団体の生の声]

- 公共工事の請負額は前年比5~6%程度上昇しているが、物価高騰によるコスト増加率は10%~20%程度であると感じており、建設業者の利益低下を心配している。
- 資材価格は高止まりしているが、足元の円安を背景に更に高騰する可能性もある。

<資料：北海道建設業信用保証(株)>

## 6. 住宅建設 前年を大幅に上回る

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家は前年を上回り、分譲住宅は大幅に上回っている。



〔10-12月前年同期比〕 合計 +66.4% 持家 +5.3%

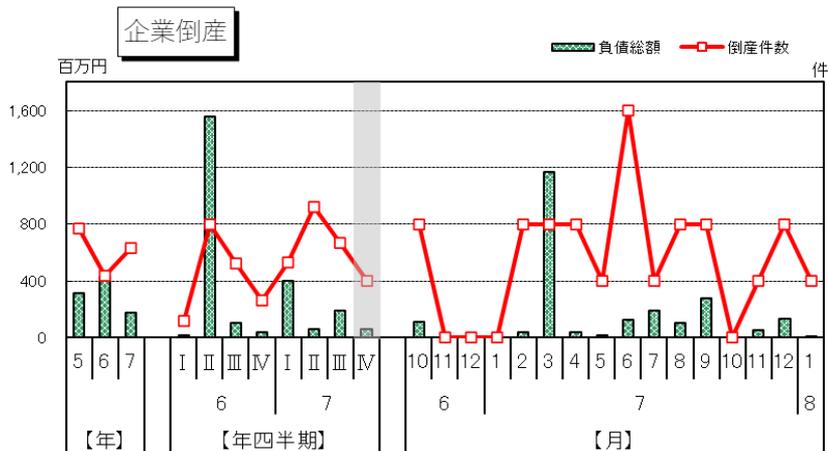
〔企業・団体の生の声〕

- ▶ 住宅を購入できる人が少なくなっていることから、土地の所有者や不動産業者は多少土地の値段を下げて販売するところも出てきた。
- ▶ 60坪から70坪程度の土地を確保できるなら、平屋という選択肢も増えてきている。

<資料：国土交通省、音更町、幕別町、芽室町>

## (参考) 企業倒産 前年を上回る

企業倒産は、前年を上回っている。



(参考) **金融** 貸出金残高は前年並み

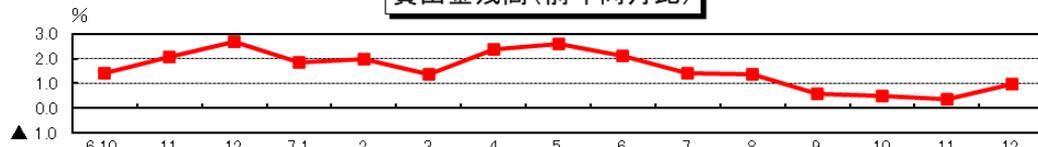
金融機関の貸出金残高（銀行・信用金庫・信用組合ベース）をみると、事業者向けは前年並みとなり、個人向けは前年を上回っている。

(単位：百万円、%)

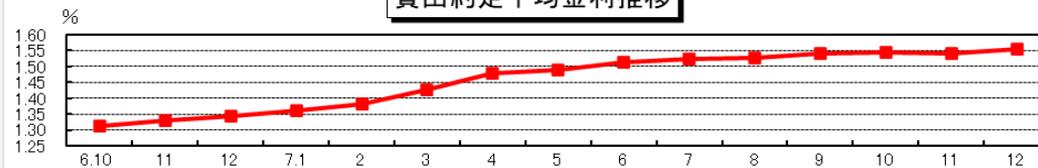
年 月	貸出金 残高	前年比	事業者向け貸出			個人			地方公共 団体			
			前年比	設備	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比			
4. 12末	874,180	1.7	524,299	1.1	199,217	2.7	325,082	0.2	278,637	2.9	71,239	1.0
5. 12末	883,155	1.0	527,599	0.6	209,630	5.2	317,969	▲ 2.2	285,019	2.3	70,531	▲ 1.0
6. 12末	906,696	2.7	542,881	2.9	212,697	1.5	330,184	3.8	291,374	2.2	72,436	2.7
7. 7 末	870,285	1.4	501,412	0.9	214,105	1.2	287,307	0.7	291,598	1.2	77,269	5.4
8 末	872,884	1.4	503,716	0.9	215,295	1.4	288,421	0.5	291,947	1.1	77,216	5.5
9 末	874,361	0.6	508,190	▲ 0.7	214,077	1.2	294,113	▲ 2.0	292,887	1.2	73,279	7.2
10 末	877,330	0.5	508,762	▲ 1.1	213,169	1.0	295,593	▲ 2.5	293,545	1.2	75,018	9.4
11 末	888,415	0.4	517,050	▲ 0.9	214,273	0.8	302,777	▲ 2.0	294,401	1.2	76,960	6.2
12 末	915,392	1.0	544,162	0.2	215,069	1.1	329,093	▲ 0.3	294,848	1.2	76,378	5.4

年 月	預金 残高	前年比	要求払		定期性		貸出約定 平均金利
			前年比	前年比	前年比	前年比	
4. 12末	1,725,972	2.2	1,209,649	4.0	513,383	▲ 1.9	1.223
5. 12末	1,732,461	0.4	1,233,547	2.0	496,390	▲ 3.3	1.233
6. 12末	1,745,830	0.8	1,262,396	2.3	481,164	▲ 3.1	1.344
7. 7 末	1,723,898	▲ 0.4	1,243,220	0.4	478,389	▲ 2.4	1.525
8 末	1,727,628	▲ 0.1	1,247,600	0.5	477,675	▲ 1.6	1.529
9 末	1,711,640	▲ 0.4	1,234,868	0.1	474,333	▲ 1.7	1.541
10 末	1,713,375	▲ 0.4	1,232,727	▲ 0.3	478,078	▲ 0.9	1.544
11 末	1,733,629	▲ 0.2	1,249,573	▲ 0.2	481,098	▲ 0.6	1.540
12 末	1,753,446	0.4	1,268,886	0.5	481,566	0.1	1.554

貸出金残高(前年同月比)



貸出約定平均金利推移



(注)「貸出約定平均金利」の基礎データには、制度融資に関する金利データが含まれており、地方公共団体から受け取る利子補給分について、算定可能な限り、これを含めている。